



# リーダー・イン・ミー こぼれ話

今回は、先生方の話を紹介したいと思います。

私は、毎朝、教頭先生と打合せを行っています。その中で、「あいさつ+1運動」について話が及びました。

「子供たちって、担任の先生以外の先生との関わりってあんまりないんだよね。」

「校長先生が『関わりの中で、共に学び、共に育つ』って掲げていらっしやるので、もっと関わりを作っていきたいですね。」

そんなことを話している内に、教頭先生が素晴らしいアイデアを出してくれました。

「担任以外の先生が他の学年に行って読み聞かせをしたら、関わりができるんじゃないでしょうか。」

「いいですねえ。それ。ちょっと具体的に考えてみてほしいです。来年、できたらいいよね。」

その次の日、教頭先生から思いもよらない報告を受けました。

「読み聞かせの話、図書系の先生に話してみたら、おもしろいっていうことになりました。そして、読み聞かせだけでなく、手品でも何でも先生の得意なことを10分間やって見せたらより深く関わりを持てるんじゃないかということになって、今、先生方に計画を練ってもらっています。」

「えっ！読み聞かせだけでなく、得意なことですか？今年ですか？」

なんと読み聞かせにとどまらず、先生の特技を見せて担任以外の子供たちと関わりを豊かに持とうというのです。確かに本を読むだけよりもその先生をより深く理解してもらえそうです。それも来年度の計画じゃなくて、今年度のうちにもうやろうというのです。驚きました。

私は、学校の旗振り役として「関わりの中で、共に学び、共に育つ」と掲げて自己肯定感の高揚に努めてほしいと常々話しています。その方法として、「あいさつ+1運動」やLIMに取り組んでいくのだとも話しています。先生方が、私の願いを共有してくれて同じベクトルに向かって動いていることを大変有り難く感じていました。しかし、ここまでとは思っていませんでした。「来年できたらいいなあ。」と思っていたことをすぐに実現してしまうのです。

この話を聞いて、6年生の書いた作文を思い出しました。

「1～6年生、先生たちがみんな7つの習慣をしっかりと行って、雰囲気明るくなった気がするし、誰に対してもあいさつが多くなって、やってよかったと思った！」

子供の作文にあるとおり先生方は、子供たちにLIMを教えながら、先生方自身もLIMを実践してくれているのです。教頭先生の報告を聞いて、第1の習慣と第6の習慣を思い浮かべました。

## 第1の習慣「主体的である」

「他の学級に行って話すと関わりができるのではないかと聞いて、その計画を立ててくれたこと、先生方にも了解をすでに取りっていたこと。そして、先生方もそれを受け入れたこと。どこをとっても先生方の主体性を感じます。

## 第6の習慣「シナジーを創り出す」

はじめは、読み聞かせでした。でも、先生方で話し合っていたら、特技を見せた方が、先生への親しみがよりわくだろうということになったそうです。先生方の話し合いで、シナジーが生まれたんですね。

計画では、3月9日(水)の朝に実施されることになっています。先生方は、どんな特技を見せてくれるのか、今からとっても楽しみです。その日のうちにブログにアップしたいと思います。どうぞご期待ください。しかし、先生方の前向きさには、驚かされます。有り難い。有り難い。(小松英明)

